

平成23年度

今年のまちづくり

豊浦町

目 次

1. 町政執行方針（抜粋）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 平成23年度の予算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
3. 行政改革による効果について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
4. 主要施策事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
5. 投資的事業箇所図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 16
6. 平成21年度決算で見る豊浦町の財政状況・・・・・・・・ P 21

平成23年度 町政執行方針(抜粋)

平成23年度の我が国の経済は、失業率が高水準で推移するなど依然として厳しい状況にあります。今後の経済見通しにつきましては、世界経済の穏やかな回復が期待される中、国の経済対策予算などの効果により、景気の持ち直しが期待されていますが、道内では、雇用情勢の一層の悪化やデフレの影響などが懸念されております。

このような経済状況の中、国は昨年11月に緊急経済対策として補正予算「地域活性化交付金(きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金)」を成立させたところであります。本町では、この交付金を財源に元氣な豊浦町の回復を基本に据えて、地元の受注機会につながるような効果的な事業を定例会2月会議で総額2億8,700万円補正し、22事業について、繰越措置を行いました。本年度事業を合せて、切れ目なく事業の実施に取り組んでまいります。

また、地方財政は「三位一体改革」による地方交付税の大幅削減が、地域の活力を大きく減退させましたが、平成20年度の地方再生対策費創設により普通交付税が増額に転じました。しかしながら、過去の交付税削減額を補う水準には至ってはおりません。

本年度は、行政刷新への取り組みが進展する中、国が最重要施策として掲げる「地域主権改革」が推進されます。この改革は、本年から本格化し地域が自由に活用できる一括交付金制度が創設され、本年度は都道府県に交付されます。

夏にはその基本指針となる地域主権戦略大綱が策定される見込みであり、その行方を全国の地方自治体が注視しているところでもあります。

また、地域主権改革に沿った財源の充実を図るため、地方交付税総額を4,799億円2.8%増額の17.4兆円とするなど地方公共団体の自主財

源を確保していますが、既存事業につきましては行政刷新会議や財務省による事業仕分けの手法により、事業の見直しが行われているところでもあります。

このような中で、豊浦町自立計画は、前期計画を検証して本年度から後期 5 力年計画へと進めてまいります。その柱である財政の健全化、効率的な行政組織づくりにつきましては、これまでの検証・検討を行い、引き続き効果的な行政運営に取り組んでまいります。

経済の回復が見えにくい中ではありますが、次代を担う子どもたちが将来とも安心できる町づくりを進めることが重要であると考えています。

このような時こそ町民の皆様のご力を結集し、あらゆる機会を通じて対話を重視した中から道が開かれると確信しております。

町民の皆様方から「豊浦町民で良かった」と言っていただけるよう、いつまでも住み続けたいと思う町づくりを進めるため、私をはじめ職員一人ひとりが「必要とされる行政」を目指し、目的意識をもった自己研修や職場内討論を積極的に行い、町民の皆様と一体となった町政運営を進めてまいりますので、町民の皆様のご理解、ご協力と積極的な町づくりへの、更なる参画を心からお願い申し上げます。平成 23 年度町政執行方針とさせていただきます。

豊浦町長 工藤 國夫

平成23年度の予算状況

■全会計の予算状況

平成23年度の一般会計予算総額は、40億6,600万円で、前年度より1億4,900万円、3.5%の減額となりました。

一般会計と特別会計を合わせた予算総額は71億1,214万円で、前年度比2億690万円、2.8%の減額となっています。(老人保健事業特別会計は23年度で廃止)

また、これらと合わせて平成22年度から地域活性化交付金等を活用した2億8,766万円を繰越し、切れ目なく素早い行政対応を目指した予算編成となりました。

【全会計の予算状況】

(単位：千円、%)

会 計	平成23年度	平成22年度	対前年比		
			増減額	増減率	
一 般 会 計	4,066,000	4,215,000	149,000	△3.5	
特 別 会 計	簡易水道事業	210,160	199,223	10,937	5.5
	公共下水道事業	337,028	393,160	△56,132	△14.3
	国民健康保険事業	821,417	779,781	41,636	5.3
	老人保健事業	0	312	△312	△100.0
	後期高齢者保健事業	136,769	142,845	△6,076	△4.3
	介護保険事業	481,195	499,583	△18,388	△3.7
	総合保健福祉施設事業	257,621	259,087	△1,466	△0.6
	国民健康保険病院事業	801,958	830,052	△28,094	△3.4
合 計	7,112,148	7,319,043	△206,895	△2.8	

■歳入予算の概要

●財源別にみた歳入

歳入は、その性質により国・道などからの交付、割り当てられるお金である「依存財源」と、町が自力で収入できるお金である「自主財源」に分けることができます。構成比率をみてみますと、地方交付税の56.6%を始めとした依存財源が町の歳入の8割以上を占めていることがわかります。

【財源別にみた歳入】

(単位：千円、%)

項 目	平成23年度	構成比率
依 存 財 源	地方譲与税	93,400 2.3
	国庫支出金	361,896 8.9
	道支出金	183,138 4.5
	地方交付税	2,300,000 56.6
	町 債	371,000 9.1
	その他依存財源	69,150 1.6
	小 計	3,378,584 83.0
自 主 財 源	町 税	342,067 8.4
	分担金及び負担金及び使用料	1,668 0.1
	繰 入 金	97,420 2.4
	その他自主財源	246,261 6.1
	小 計	687,416 17.0
歳 入 合 計	4,066,000 100.0	

～用・語・説・明～

- 国庫支出金
事業を行うために国からもらうお金
- 道支出金
事業を行うために道からもらうお金
- 地方交付税
町の財政状況により国から配分されるお金
- 町債
事業を行うために国などから借りるお金
- 分担金及び負担金及び使用料
保育所等の利用者が負担するお金
- 繰入金
基金(町の貯金)から取り崩すお金

●歳入の前年度比較

次に、前年度の歳入と比較してみたいと思います。

町税が約 320 万円の減額となっていますが、主にたばこ税の減収を見込んでいるためです。

国庫支出金が 2,040 万円減額となっているのは、主に平成 21 年度に実施した社会資本整備総合交付金による各事業が終了したためです。

道支出金が約 2,100 万円増額となっているのは、雇用対策である緊急雇用創出事業補助金などによるものです。

また、各種交付金事業等を活用することにより、町の貯金から取り崩すお金である「繰入金」が約 1 億 2,194 万円減額となっています。

【歳入の前年度比較】

(単位：千円、%)

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度	比較増減額	前年度比率	構成比率
1. 町 税	342,067	345,275	△3,208	△0.9	8.4
2. ゴルフ場利用税交付金	50	100	△50	△50.0	0.0
3. 利子割交付金	1,400	1,400	0	0.0	0.0
4. 配当割交付金	200	200	0	0.0	0.0
5. 株式等譲渡所得割交付金	100	200	△100	△50.0	0.0
6. 地方消費税交付金	41,800	42,200	△400	△0.9	1.0
7. 地方譲与税	93,400	93,000	400	0.4	2.3
8. 自動車取得税交付金	19,000	19,800	△800	△4.0	0.5
9. 地方特例交付金	5,800	5,600	200	3.6	0.1
10. 地方交付税	2,300,000	2,250,000	50,000	2.2	56.6
11. 交通安全対策特別交付金	800	900	△100	△11.1	0.0
12. 分担金及び負担金	1,668	1,587	81	5.1	0.1
13. 使用料及び手数料	173,017	170,770	2,247	1.3	4.3
14. 国庫支出金	361,896	382,296	△20,400	△5.3	8.9
15. 道支出金	183,138	162,134	21,004	13.0	4.5
16. 財産収入	43,907	36,404	7,503	20.6	1.1
17. 寄附金	1	1	0	0.0	0.0
18. 繰入金	97,420	219,344	△121,924	△55.6	2.4
19. 繰越金	1	1	0	0.0	0.0
20. 諸収入	29,335	30,988	△1,653	△5.3	0.7
21. 町 債	371,000	452,800	△81,800	△18.1	9.1
歳入合計	4,066,000	4,215,000	△149,000	△3.5	100.0

*合計・差引額・構成比は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

■歳出予算の概要

●目的別にみた歳出

次にお金の使い道（目的別）で歳出をみてみましょう。

前年度と比較すると「総務費」が約4千万円の増額となっています。これは主に平成23年度重点事業の「地上デジタル放送難視聴対策事業」を実施するためです。

また、「土木費」が約2億2千5百万円の減額となっているのは、平成22年度の地域活性化交付金事業により事業の前倒しを行ったことなどによるものです。

【目的別にみた歳出】

（単位：千円、％）

区 分	平成23年度	平成22年度	比較増減	増減率	構成比
議会費	46,275	33,142	13,133	39.6	1.1
総務費	264,487	223,778	40,709	18.2	6.5
民生費	665,287	667,432	△2,145	△0.3	16.4
衛生費	647,643	645,606	2,037	0.3	15.9
農林水産業費	241,632	251,077	△9,445	△3.8	5.9
商工費	107,084	102,069	5,015	4.9	2.6
土木費	295,364	520,552	△225,188	△43.3	7.3
消防費	170,265	224,583	△54,318	△24.2	4.2
教育費	370,239	252,046	118,193	46.9	9.1
災害復旧費	8	8	0	0.0	0.0
公債費	711,617	729,586	△17,969	△2.5	17.5
給与費	544,099	562,621	△18,522	△3.3	13.4
予備費	2,000	2,500	△500	△20.0	0.1
歳出合計	4,066,000	4,215,000	△149,000	△3.5	100.0

*合計・差引額・構成比は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

～用・語・説・明～

●総務費

町の運営にかかる全体的な経費や起業の促進、定住の促進にかかる経費

●民生費

心身障害者等支援、母子家庭等支援や介護保険などにかかる経費

●衛生費

乳幼児医療費の助成や各種検診、し尿処理などにかかる経費

●農林水産業費

一次産業振興のための各種事業にかかる経費

●商工費

商工業振興のための各種事業にかかる経費

●土木費

道路の改良舗装や公営住宅の改修・建設にかかる経費

●教育費

学校や各種スポーツ大会などにかかる経費

● 性質別にみた歳出

歳出は性質によって、支出が義務づけられ任意に削減できないお金「義務的経費」と、施設建設など将来に残るものにかかるお金「投資的経費」、そして「その他の経費」の3つに分けることができます。

性質別で歳出をみてみますと「義務的経費」の公債費が前年度と比較して約1千7百万円の減額となっています。これは主に平成11年度に借入した豊浦町海浜公園整備事業の借金返済が終了したためです。

また、「投資的経費」の普通建設事業費が約9千万円の減額となっていますが、これは前述のとおり平成22年度の地域活性化交付金事業により事業の前倒しを行ったことなどによるものです。

【性質別にみた歳出】

(単位：千円、%)

項目	平成23年度	平成22年度	比較増減	前年比率	構成比率	
義務的経費	公債費	711,617	729,586	△17,969	△2.5	17.5
	人件費	594,705	603,850	△9,145	△1.5	14.6
	扶助費	287,243	267,483	19,760	7.4	7.1
	小計	1,593,565	1,600,919	△7,354	△0.5	39.2
投資的経費	普通建設事業費	557,581	648,518	△90,937	△14.0	13.7
	災害復旧事業費	3	3	0	0.0	0.0
	小計	557,584	648,521	△90,937	△14.0	13.7
その他の経費	補助費等	416,844	483,866	△67,022	△13.9	10.3
	物件費	589,233	570,526	18,707	3.3	14.5
	繰出金	826,336	837,596	△11,260	△1.3	20.3
	その他の経費	82,438	73,572	8,866	12.1	2.0
	小計	1,914,851	1,965,560	△50,709	△2.6	47.1
歳出合計	4,066,000	4,215,000	△149,000	△3.5	100.0	

* 合計・差引額・構成比は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

～用・語・説・明～

- **公債費**
事業のために国などから借りたお金の返済金
- **人件費**
議員や各種委員への報酬、職員給与などの経費
- **扶助費**
医療費・福祉関係・教育関係扶助などの経費
- **普通建設事業**
道路・建物などの建設事業費
- **補助費等**
各種団体への負担金・補助金などの経費
- **物件費**
賃金、旅費、交際費、消耗品などの経費
- **繰出金**
特別会計へ支出する経費
- **その他の経費**
維持補修費、積立金、出資金、貸付金など

行政改革推進による効果

第3次豊浦町行政改革大綱に掲げる目標並びに豊浦町自立計画に基づく各種見直し等により、平成23年度当初予算において持続可能かつ弾力性のある財政運営を図る為、昨年度に引き続き行政改革を行いました。

自立計画策定年度（平成18年度）の予算ベースからの累積効果額は194,640千円となっております。

また、行政改革を円滑かつ強力に推進する為、平成15年度より行政改革町民会議を設置しており、引き続き平成23年度についても協議・検討をしていきます。

主な行政改革項目

- 産業創造センターを指定管理者に運営委託
- 給食センターの調理部門の委託
- 町内小学校の統廃合
- 町長等の特別職給与の減額（10%）
- コンポスト購入助成費の廃止
- 自治会運営交付金事業の交付金の削減（H21年度まで10%ずつ）
- 自治会街灯維持管理事業
- 庁内の事務管理経費の前年度当初予算に対し10%削減
- 自治会配付文書や広報紙の職員配布
- 議員定数の減

行政改革効果額 1億9,464万円

	内訳
人件費	1億1,460万円
物件費	1,778万円
補助費	6,226万円

「自立する元気な豊浦町」の実現を目指して

基幹産業である農林水産業の発展と経営の安定

農業生産基盤の整備

道営農道保全対策事業 6,255 千円

担当：産業振興課

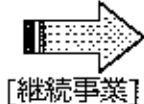


山梨第4線、新山梨路農1号線の路側部崩落対策として、法面保護や舗装修繕を行います。
(事業主体は北海道)

農業生産基盤の整備

自力草地更新事業 3,720 千円

担当：産業振興課



計画的な草地更新に助成することにより、自給飼料の生産性向上を図ります。

担い手の育成

新規就農者支援助成事業 2,640 千円

担当：産業振興課



豊浦町新規就農者支援特別措置に関する条例に基づき、新規就農を目指す研修生及び受入農家の経済的な支援を致します。

担い手の育成

経営体育成交付金事業 22,500 千円

担当：産業振興課



農業経営の発展・改善を目的として、農業機械や施設、土地基盤の整備を行うため、主に金融機関からの融資を活用した場合、融資残の自己負担分について助成を行います。

生産体制の確立

豊浦いちごブランド苺苗安定供給事業 630 千円

担当：産業振興課

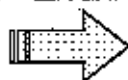


高設ベンチによる苺種苗施設の完成に伴い、高品質な苺苗の供給が開始されるにあたり、従来の路地苺苗と価格差が生じるため、激変緩和措置として3年間、その差額について町から助成を行います。

生産体制の確立

地力維持増産奨励対策事業 1,571 千円

担当：産業振興課



[継続事業]



「豊浦町地力維持増産奨励条例」に基づき、緑肥種子（えん麦・ひまわり等）の購入に助成します。

生産体制の確立

肉牛経営安定対策事業 1,040 千円

担当：産業振興課



[継続事業]



系統の良い肉牛の導入に助成することにより、販売力を強化し、畜産の振興を図ります。

農村環境を守る

農地・水・農村環境保全向上活動支援事業 2,928 千円

担当：産業振興課



[継続事業]



農地等の地域資源を守るため、平成 19 年度に創設された国の補助事業を町内 4 地区、保全管理面積 974.64ha で実施します。

財源

北海道からの補助金 190 千円

農村環境を守る

中山間地域等直接支払交付金事業 5,040 千円

担当：産業振興課



[継続事業]



国の補助事業により礼文筆地区において、農地の保全と農業生産条件の改善に支援します。

財源

国からの補助金 2,558 千円

北海道からの補助金 1,240 千円

森林整備の振興

21 世紀北の森づくり推進事業 12,900 千円

担当：産業振興課



[継続事業]



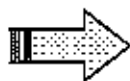
無立木地における広葉樹等の造林に対して行う事業の一部を支援します。

財源

北海道からの補助金 7,938 千円

森林整備の振興**森林整備地域活動支援交付金事業 5,750 千円**

担当：産業振興課



[継続事業]



所有者の高齢化により管理が十分に行えない人工林に対し、国の事業を活用し適切な森林整備の推進を図る観点で必要な現況調査等を支援します。

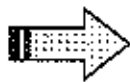
財源

国からの補助金 2,875 千円

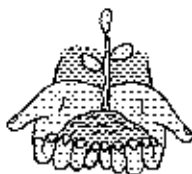
北海道からの補助金 1,437 千円

森林整備の振興**町有林整備事業 22,751 千円**

担当：産業振興課



[継続事業]



木材生産の経済機能と環境維持の公益的機能の発揮の為の新植・下刈等を行います。

財源

北海道からの補助金 7,938 千円

森林整備の振興**森林管理道上泉線開設事業 25,246 千円**

担当：産業振興課



[新規事業]



造林、間伐などの森林施業を促進するため、上泉地区に森林管理道を開設する。今年度は、測量を行い、全体計画を策定します。

財源

国からの補助金 12,750 千円

水産業の振興**ウニ・アワビ種苗放流事業 1,327 千円**

担当：産業振興課



[継続事業]



ウニ・アワビの漁獲量増大を図るための放流事業に対し支援します。

水産業の振興**ナマコ種苗放流事業 145 千円**

担当：産業振興課



[新規事業]



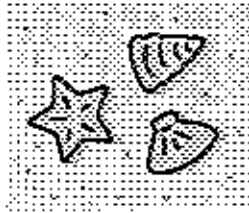
礼文華漁港の完成に伴い、畜養岸壁を活用したナマコの飼育試験開始に合わせ、ナマコの種苗放流事業に対し支援します。

水産業の振興**海の恵み製造事業 8,915 千円**

担当：産業振興課



[新規事業]



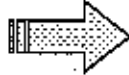
水産系付着物リサイクル処理施設から生産される堆肥（海の恵み）の消費拡大を図るため、袋詰めや運搬などの費用について助成します。

財源

北海道からの補助金 8,915 千円

水産業の振興**漁場環境整備事業 1,250 千円**

担当：産業振興課



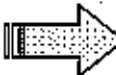
[継続事業]



良好な漁場環境を維持するため、ヒトデを駆除する取り組みに要する費用の一部について、助成を行います。

商店街近代化とまちなみ整備**商店街の近代化****まちなみ整備事業 17,994 千円**

担当：産業振興課



[継続事業]



道々の拡幅整備に合わせて商店街近代化を図るため、道路事業と一体的に進める美しいまちなみづくりを推進しており、今年度も修景施設の整備への助成や景観に配慮した道路付帯施設の整備を実施します。

財源

国からの補助金 7,394 千円

子育て支援**医療費等の負担軽減****小児用肺炎球菌ワクチン予防接種事業 1,902 千円**

担当：やまびこ



[新規事業]



生後2ヶ月～9歳までの乳幼児・児童を対象にワクチン接種を無料化します。

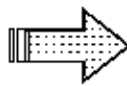
財源

北海道からの補助金 806 千円

医療費等の負担軽減

ヒブワクチン予防接種事業 680千円

担当：やまびこ



[継続事業]



生後2ヶ月～4歳までの乳幼児を対象にワクチン接種の無料化を実施します。

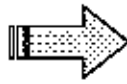
財源

北海道からの補助金 340千円

医療費等の負担軽減

乳幼児医療費支援事業 12,606千円

担当：民生課



[継続事業]



「就学前まで」の乳幼児医療費制度を「中学校卒業まで」に対象年齢を引き上げ、義務教育終了まで医療費負担の全額無料化を継続して実施します。

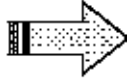
財源

北海道からの補助金 2,001千円

子育て環境の充実

子育て支援センター運営事業 3,486千円

担当：民生課



[継続事業]



次世代行動計画にある「子育て支援センター」を設置し、保育所等に通っていない幼児や保護者の集える場を提供します。

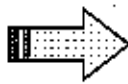
財源

国からの補助金 1,579千円

働ける環境づくり

保育所運営事業 83,788千円

担当：民生費



[継続事業]



就労支援等として保育所の運営を引き続き行います。また、民間保育所への所要の額を措置します。

財源

国からの補助金 17,449千円

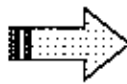
北海道からの補助金 19,317千円

保育所使用料など 9,821千円

働ける環境づくり

豊浦町放課後児童対策事業 3,887千円

担当：生涯学習課



[継続事業]



就労支援の観点から、引き続き放課後の児童保育所を公設民営により設置します。

財源

北海道からの補助金 1,705千円

町民の安全・安心と福祉の向上

福祉の向上

インフルエンザワクチン予防接種事業 7,838 千円

担当：やまびこ



[継続事業]



全町民を対象に、インフルエンザワクチン接種の無料化を実施します。

福祉の向上

子宮頸がんワクチン予防接種事業 9,797 千円

担当：やまびこ



[新規事業]



中学校1年生から45歳までの女性を対象にワクチン接種の無料化を実施します。

財源

北海道からの補助金 1,269 千円

福祉の向上

除雪サービス事業 1,500 千円

担当：やまびこ



[継続事業]



- 降雪期に社会福祉協議会が実施してきたボランティア協力による労働力弱者等の住宅の玄関先から道路まで除雪サービスについて、高齢化の進行による対象世帯の増、協力員確保の困難に対応するため、人件費、機械借上げ料を支援します。

財源

地域福祉基金(国からの補助金) 1,500 千円

きれいな水のために

豊浦町公共用水域水質調査事業 360 千円

担当：企画調整課



[継続事業]



町内の公共用水域の状況を調査分析し、水質汚濁の監視を実施します。

安全な環境づくり

消防作戦指令車購入事業 7,181 千円

担当：総務課



[新規事業]



車両の老朽化による更新を行います。作戦指令台やLED文字式警光等を搭載し、現場に移動できる指令室の役割を担う車両です。

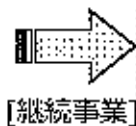
財源

国からの補助金 3,500 千円

安全な環境づくり

学校・公共施設等耐震改修事業 193,903 千円

担当：生涯学習課
総務課



[継続事業]



耐震診断結果に基づき、耐震改修実施設計や耐震化工事を実施し、安全安心なまちづくりを推進します。

(平成23年度事業箇所)

- ・いずみの学校
- ・豊浦町役場庁舎[H23は設計のみ、工事はH24以降]

財源

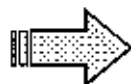
国からの交付金 93,679 千円

道路、住宅など町民の生活環境の整備

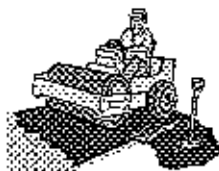
安全な環境づくり

町道補修等事業 13,400 千円

担当：建設課



[継続事業]



降雨時の土砂の路面流出や路面、路肩の損傷による通行障害を防止するため、排水及び路面、防護柵等の整備・補修を行います。

(事業箇所)

上泉西昆布線、山梨上泉線、能登農場線、大和伏見線、礼文華森林公園線(5路線)

安全な環境づくり

大岸地区道路調査事業 2,700 千円

担当：建設課



[新規事業]

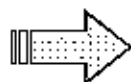


大岸地区の狭隘な道路網について、改善計画を策定するための調査を実施します。

安全な環境づくり

豊浦中学校線改良舗装事業 40,269 千円

担当：建設課



[継続事業]



昭和47年に改良された路線で損傷が著しい為、国の交付金事業を活用し、児童生徒の通学路や住民の安全確保のための事業を実施しています。

財源

国からの補助金 16,800 千円

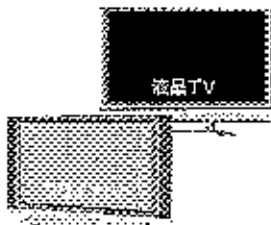
地デジ対策

地上デジタル放送難視聴対策事業 54,601 千円

担当：総務課



[新規事業]



地上デジタル放送の難視聴地区に共聴施設を整備し、難視聴世帯の解消を図ります。

(事業箇所：大和地区、山梨地区、豊泉地区)

財源

国からの補助金 34,406 千円

快適な住宅整備

公営住宅建設・維持事業 180,558 千円

担当：建設課



[継続事業]



豊浦町住宅マスタープラン・ストック計画に基づき、計画的に建て替えを行うとともに住宅の改善等を実施します。

財源

国からの補助金	59,450 千円
北海道からの補助金	2,779 千円
公営住宅使用料など	49,294 千円

住みよい環境づくり

公共下水道施設改築更新事業 86,000 千円

担当：建設課



[継続事業]



住みよい環境をつくるため、適正な維持管理を本年度より平成 26 年度までの 7 ヶ年計画により実施します。

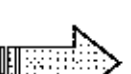
財源

国からの補助金	46,900 千円
---------	-----------

衛生的な環境づくり

合併処理浄化槽設置事業 3,527 千円

担当：建設課



[継続事業]



下水道区域以外において、合併処理浄化槽設置について設置者に一部負担していただきながら、快適で衛生的な生活環境づくりを推進します。

移住・定住・都市交流

新たな豊浦人を

移住体験事業 595 千円

担当：企画調整課



[継続事業]



豊浦町への長期・短期滞在を呼びかけるためのキャンペーン事業等を実施します。また、礼文筆地区に移住体験住宅を 2 戸設置し、移住促進を図ります。

(平成 23 年度は被災者支援のため受入中止)

都市との交流

豊浦町ふるさとづくり地域協議会運営事業 3,600 千円

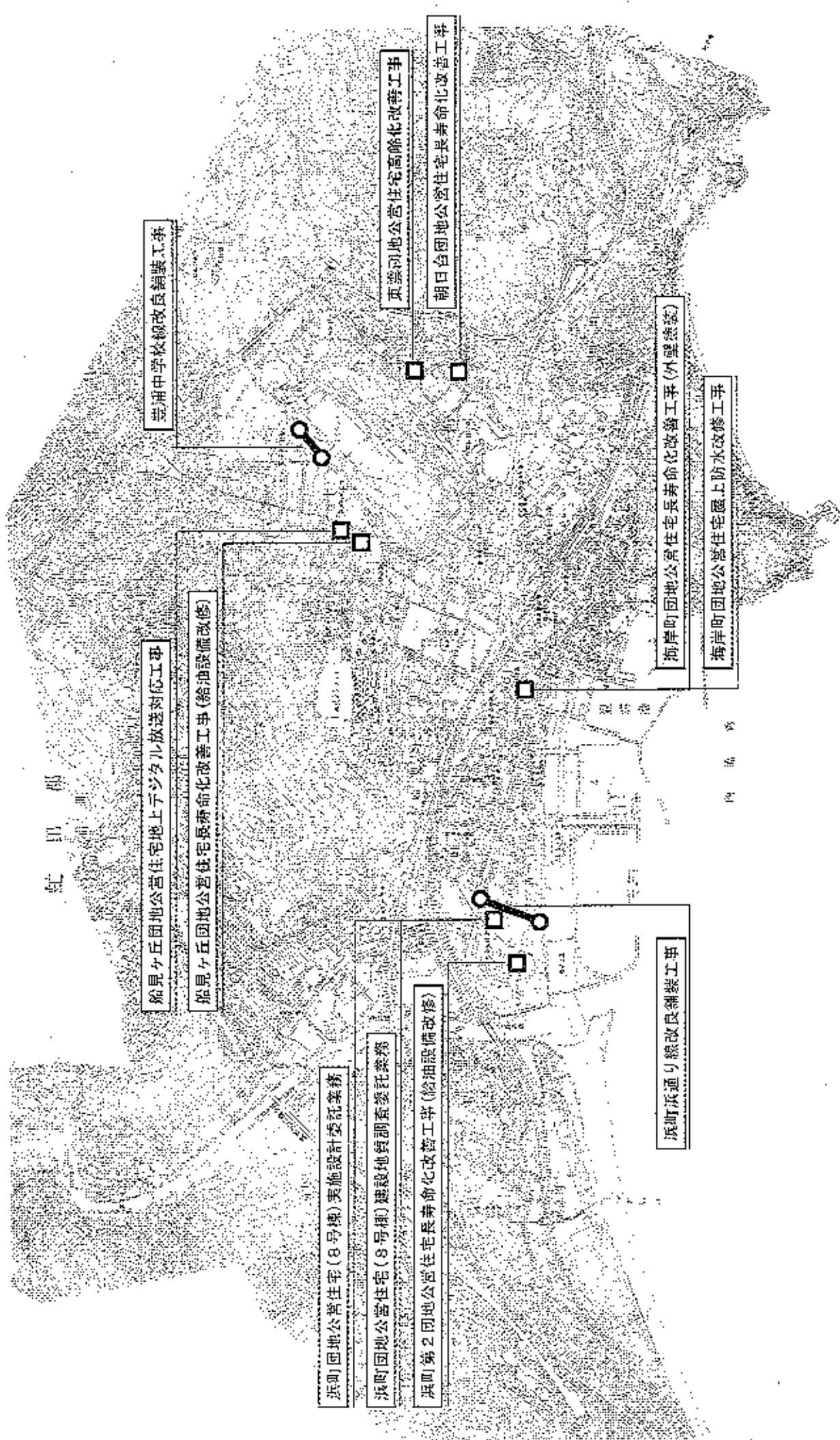
担当：産業振興課



[新規事業]



修学旅行生を対象に農漁業と連携した「民泊体験事業」の受入世帯に準備金を助成します。



英町団地公営住宅(8号棟)美施設計委託業務

浜町団地公営住宅(8号棟)建設地質調査委託業務

浜町第2団地公営住宅長寿命化改修工事(給油設備改修)

浜町浜通り線改良舗装工事

船見ヶ丘団地公営住宅地上デジタル放送対応工事

船見ヶ丘団地公営住宅長寿命化改修工事(給油設備改修)

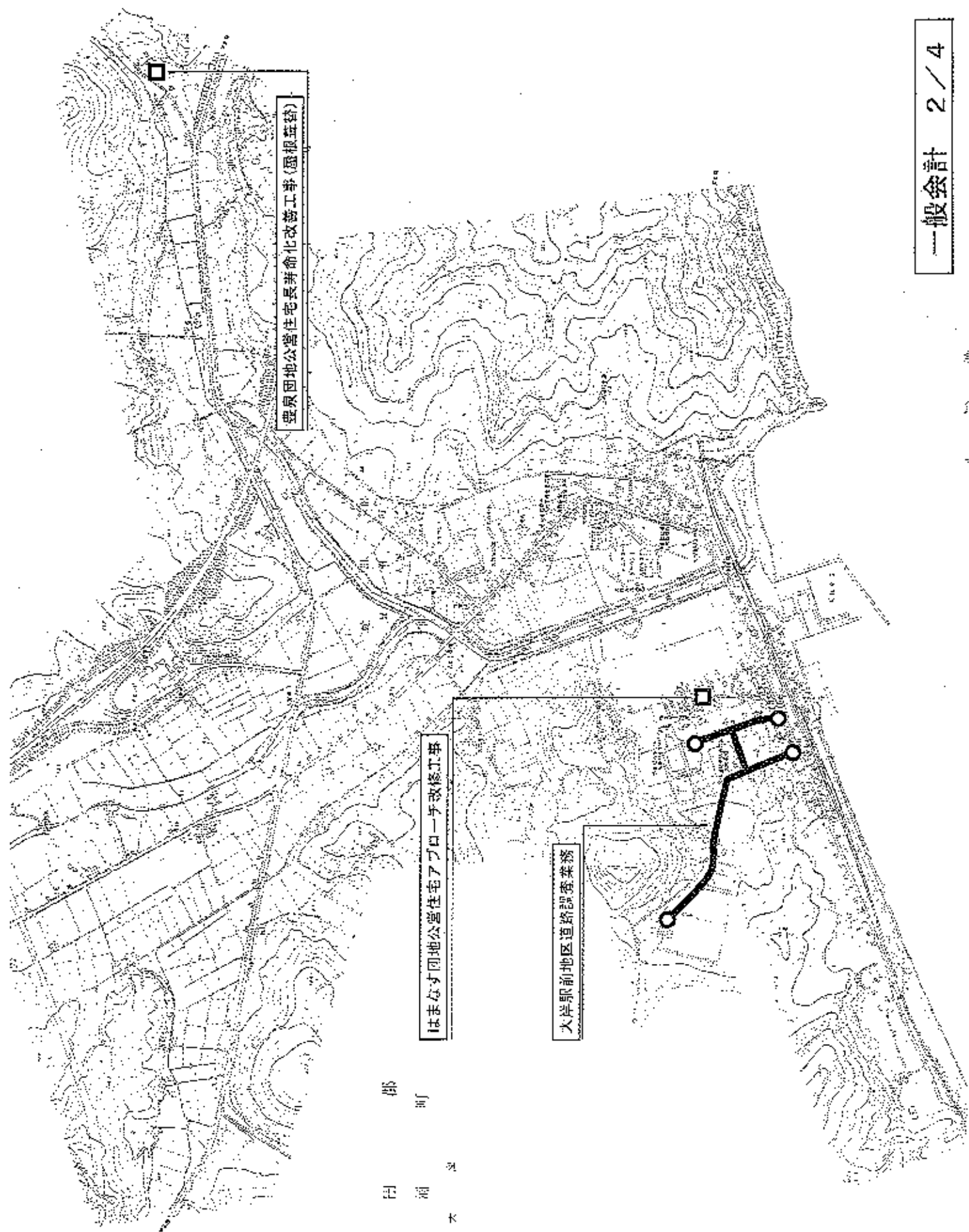
豊浦中学校給食調理工事

東葉町地公営住宅高除化改修工事

朝日台団地公営住宅長寿命化改修工事

海岸町団地公営住宅長寿命化改修工事(外壁塗装)

海岸町団地公営住宅屋上防水改修工事

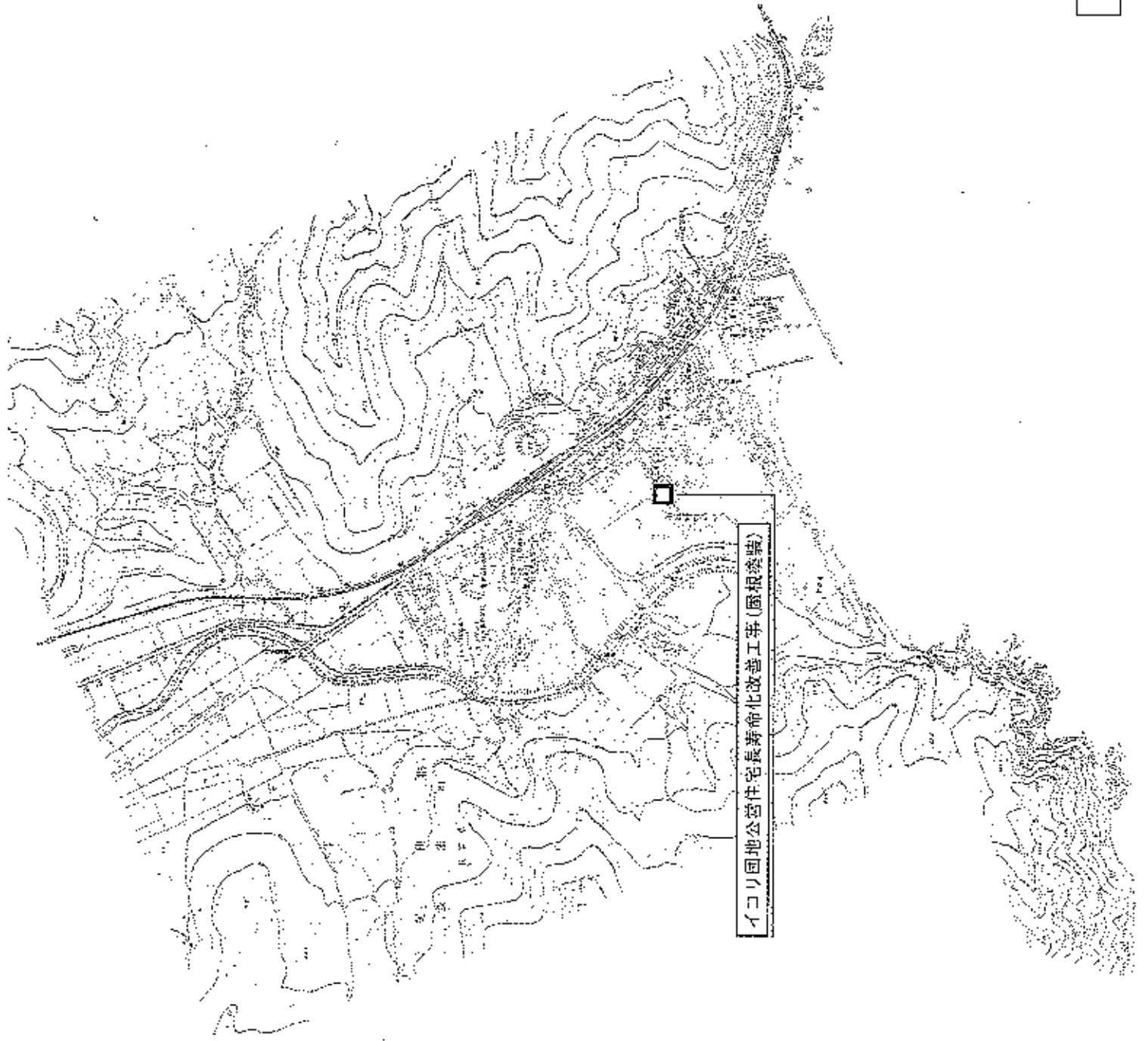


豊原団地公営住宅長寿命化改善工事(屋根葺替)

はまなす団地公営住宅アプローチ改修工事

大岸駅前地区道路調査業務

茨 城 県
 大 宮 市
 大 宮 区



国 道 部 町

社 交 委 署

森林管理道上架線全体計画業務

森林管理道上架線地区設計業務

山梨上架線排水設備工事

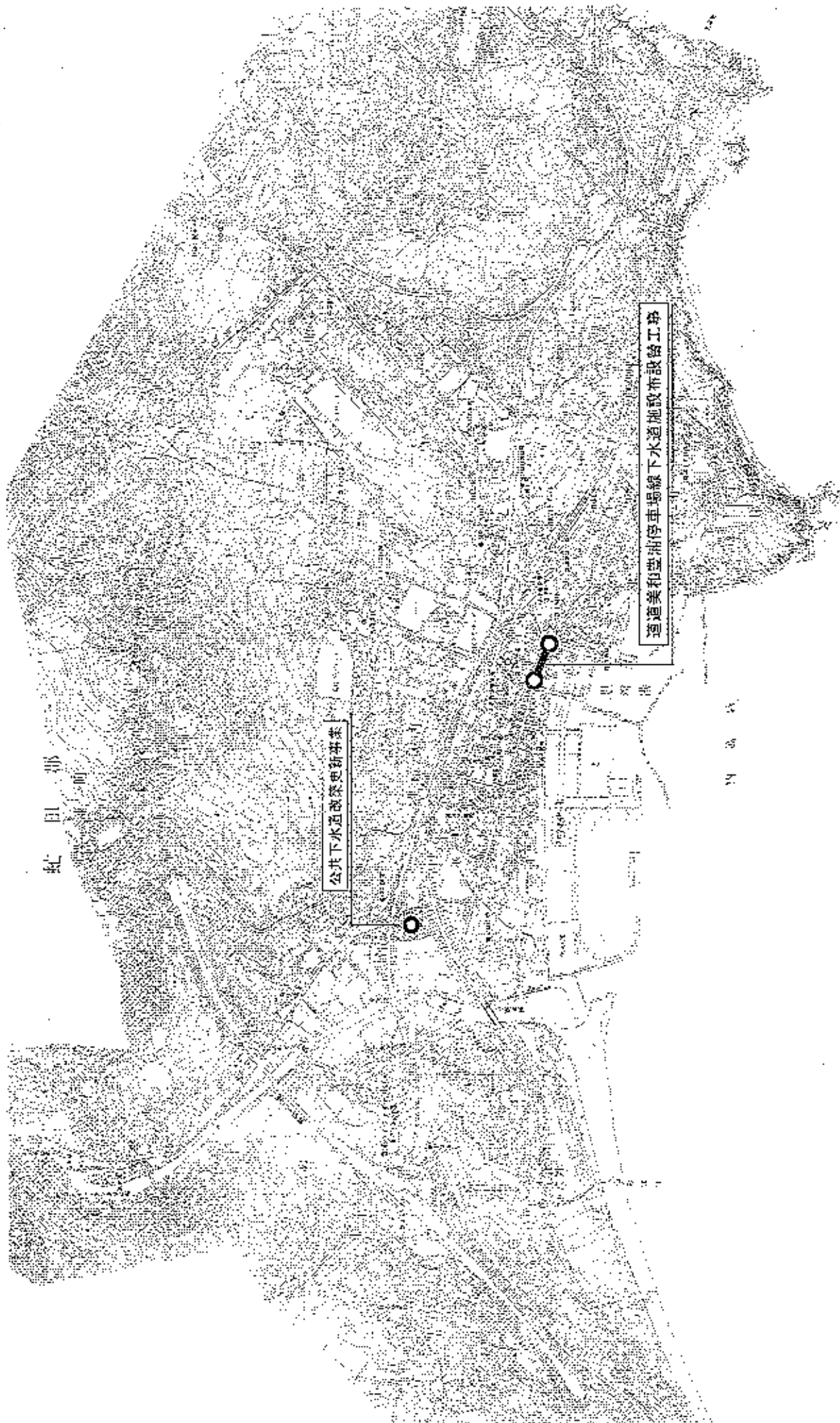
上泉路架線排水設備工事

礼文森林公園架線排水設備工事

船登機場補修工事

大和路4國道併身者住宅設備改修工事

大和伏見線助産師補修工事



「平成21年度決算」で見る

豊浦町の財政状況

豊浦町の財政状況を胆振管内の他市町と比較してみましょう。

財政状況を測る各種財政指標は決算の数字を基にしていますので、ここでは平成21年度決算による数値を用いています。

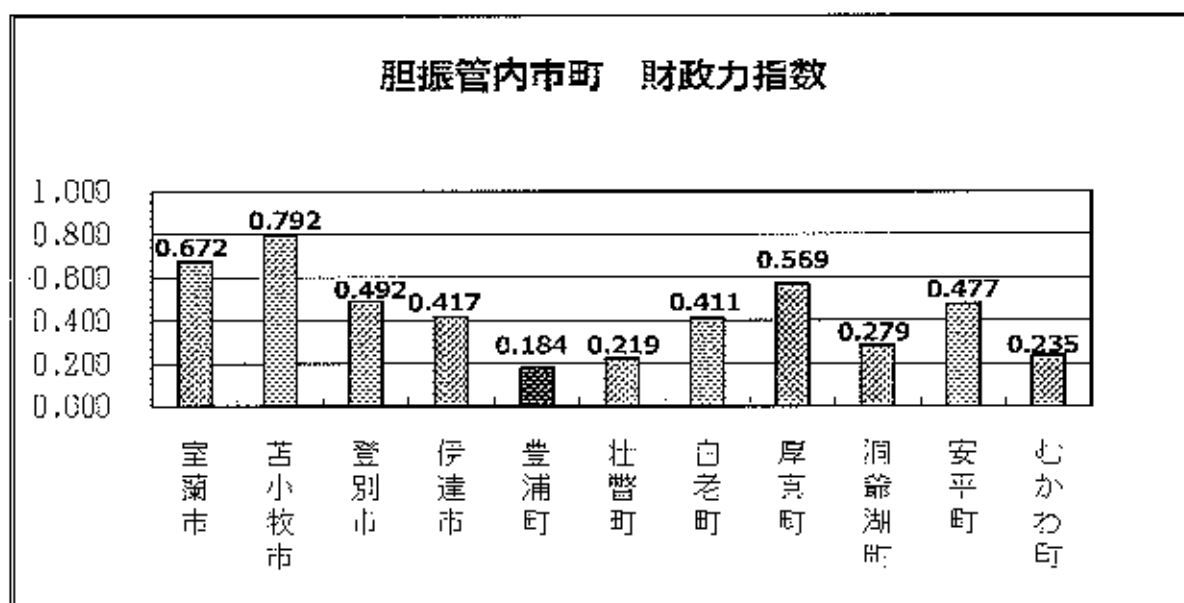
財政力指数0.184

財政力指数とは、町の財政需要額が町税など自前の収入でどれだけ賄われているかを示しており、いわば**どれだけ自給自足できているかの指標**になります。

各市町村が人口や面積を元に、一定の基準で算定した「基準財政収入額」と「基準財政需要額」を使用して算出しており、規模の違うそれぞれの市町の間で、基礎体力を比較する指標として使われています。

財政力指数が「1以上」であれば自主的な収入のみで町の運営ができしており、「1未満」であれば交付税などによって足りない部分を補うことになります。

豊浦町の数値は0.184で、管内11市町のうち最も低くなっています。

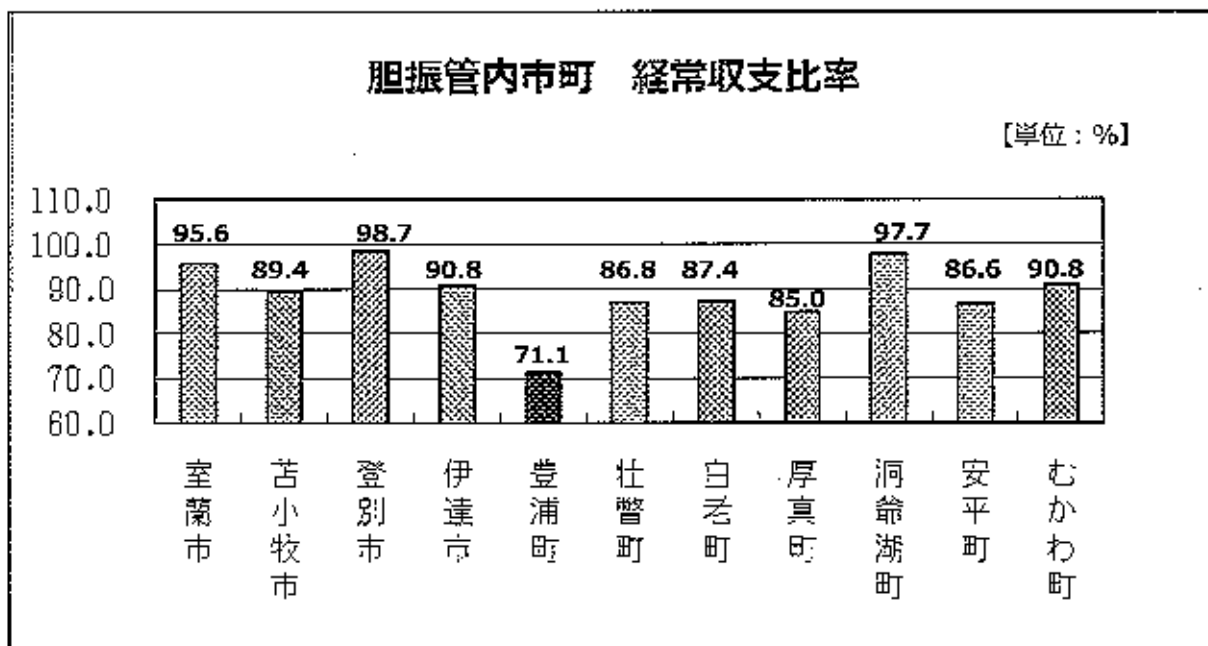


経常収支比率 71.1%

経常収支比率とは、毎年決まって必要となる費用「経常経費」に対して、毎年決まって入ってくる収入「経常的収入」がどれだけあるかの比率です。経常経費には人件費や福祉関係の費用、施設の維持管理費などがあり、経常的収入には町税や交付税などがあります。この比率が 100 であれば、経常的収入のすべてを経常経費に回さねばならない状況であり、財政的な自由度が無いということになります。

一般的には、70～80 が適正といわれています。

豊浦町の数値は 71.1% で、管内 11 市町のうち最も弾力性のある町といえます。



実質公債費比率 14.4%

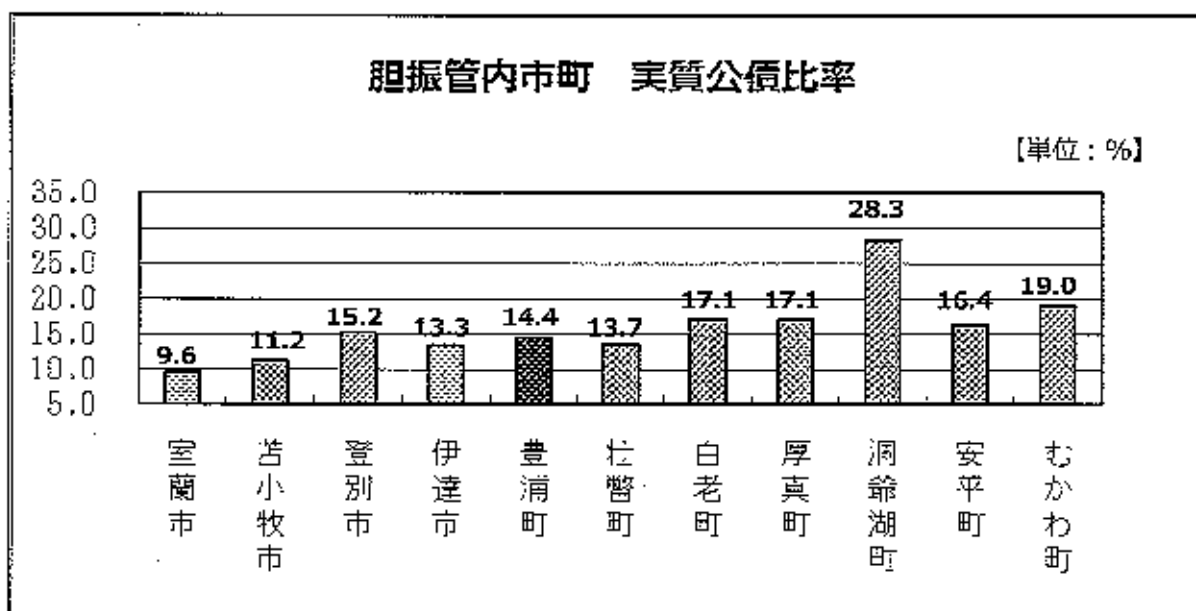
実質公債費比率とは、平成 17 年度決算から導入されたもので、これまでの公債費比率などでは表せなかった公営企業への繰出金や一部事務組合の借金なども反映されています。自治体が負っている債務を、より実態に近い形で指標にしたものです。

この実質公債費比率が 18% 以上になると、

- ① 起債（借金）の発行に国の許可が必要になる
- ② 計画的に実質公債費比率を下げるため公債費適正化計画の策定が求められる

などの措置がとられます。

豊浦町の実質公債費比率は14.4%で、管内11市町のうち高いほうから7番目となっています。

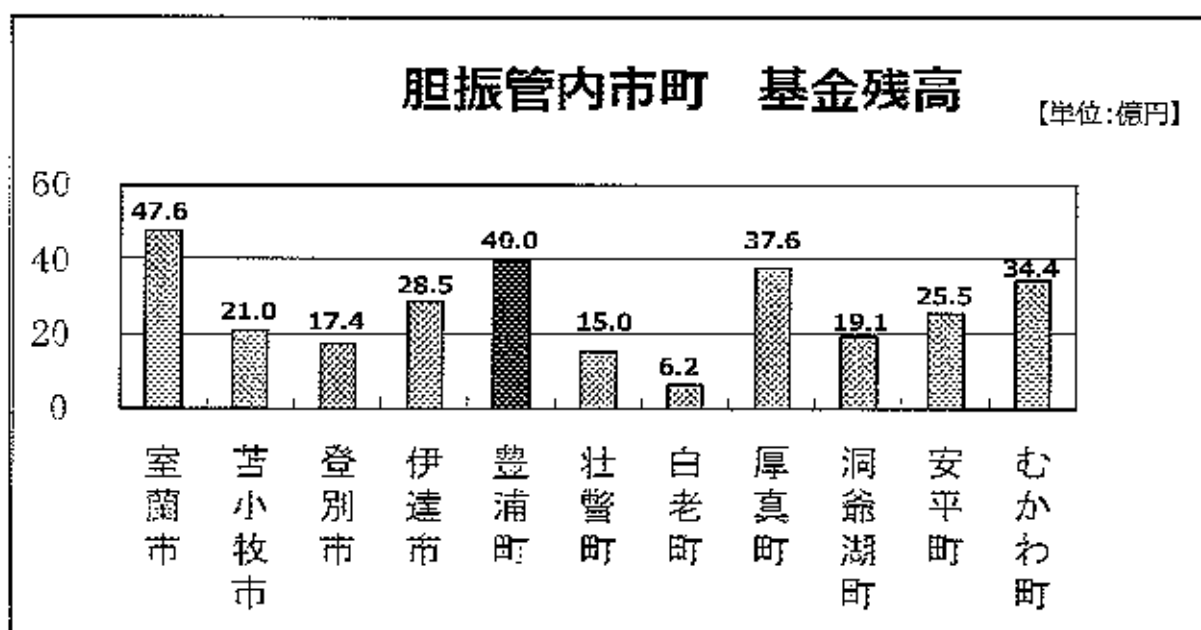


基金残高(貯金)40億円

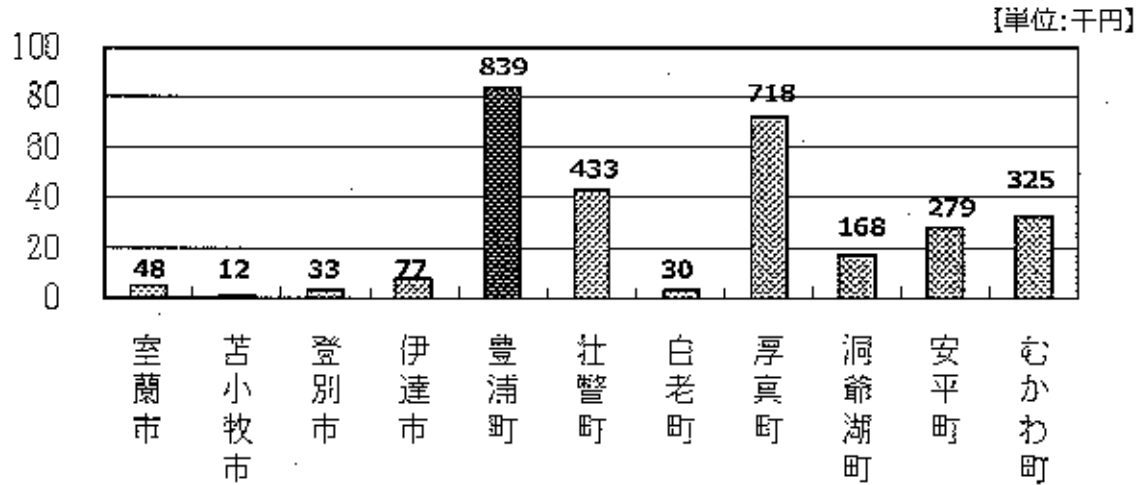
特定の目的の為に資金を積立て、定額の資金を運用するために基金が設けられています。

豊浦町の「貯金」である基金の積立額は、40億円で、管内11市町のうち、2番目に多くなっています。

また、町民一人あたりにすると839千円で、管内11市町で1番多いことがわかります。



胆振管内市町 町(市)民一人あたりの基金残高



*人口は平成17年国勢調査から

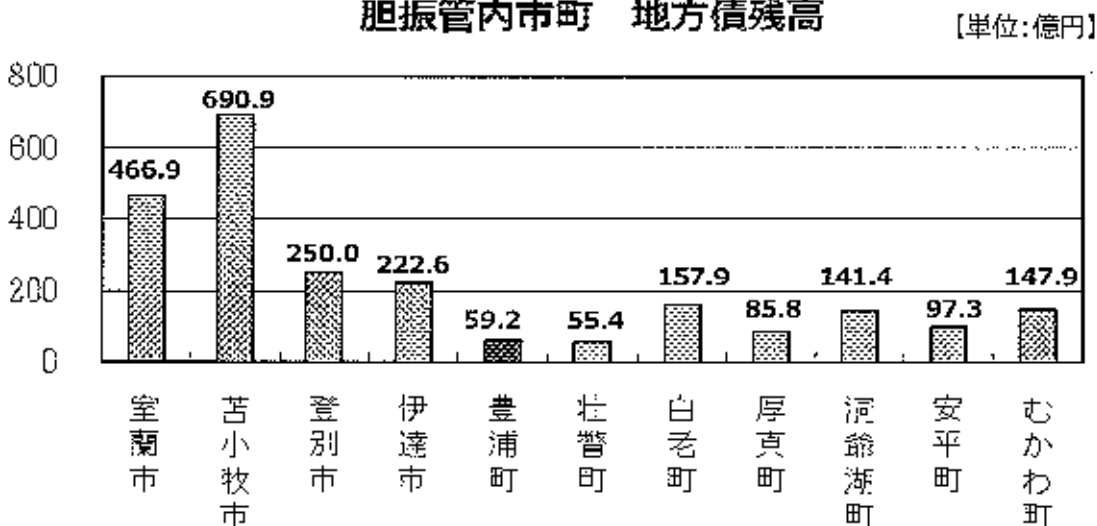
地方債残高(借金)59億2千万円

事業を実施するために借りるお金を地方債(町債)といいます。

豊浦町の「借金」である地方債残高は、59億2千万円で、管内11市町では低いほうから2番目となっています。

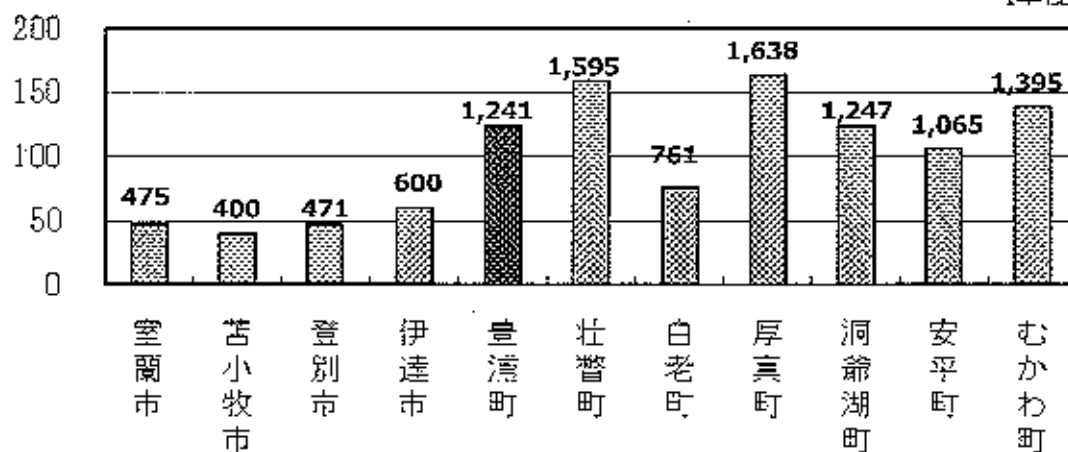
また、町民一人あたりにすると1,241千円で、管内11市町で高いほうから5番目となっています。

胆振管内市町 地方債残高



胆振管内市町 町(市)民一人あたりの地方債残高

[単位:千円]



*人口は平成 17 年国勢調査から